



各 位

2022年5月2日

会 社 名 株式会社進学会ホールディングス

代表者名 代表取締役会長 平井 睦雄

(コード番号 9760 東証スタンダード)

問合せ先 取締役社長 松田 啓

(TEL. 011-863-5557)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最新の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

[単位百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	13,500	△5,900	△5,800	△3,500	△185.63
今回修正予想 (B)	14,000	△9,600	△9,500	△5,700	△310.65
増 減 額 (B-A)	500	△3,700	△3,700	△2,200	
増 減 率 (%)	3.7	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	11,860	△4,017	△3,823	△3,692	△192.53

2. 修正の理由

2022年3月期通期連結業績につきましては、当社連結子会社である株式会社SG総研(以下「SG総研」といいます。)の資金運用事業における売上が予想を上回ったことにより、売上高は増加いたしました。利益につきましては、SG総研において、1月より運用責任者

の交代、投資方針・投資対象の見直しをおこなうなど、投資のポートフォリオを大幅に変更した結果、第3四半期の評価損△3,324百万円が第4四半期においては△857百万円と赤字幅が縮小し、2,467百万円の改善となりました。しかしながら、2022年3月期第4四半期においては、コロナ感染の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻等を背景に日経平均株価が期間中約15%変動した影響もあり、既に開示している通り2022年3月期通期の有価証券評価損は△9,618百万円となった結果、当初の計画を下回りました。

なお、既にお知らせしておりますようにSG総研は当社筆頭株主である有限会社平井興産から当該年度に金融債務の一部免除（合計4,000百万円）を受けており、特別利益として4,000百万円を計上しております。

（注）なお、SG総研において2021年4月単月の評価損△536百万円が2022年4月単月の評価損△145百万円と赤字幅が縮小し、391百万円もの大幅な改善がみられております。上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値とは異なる場合があります。

以上